

授業シラバス

コース名 シュー&バッグメーカーコース

科目名	メイキング基礎実習 I			授業のねらい 靴、靴の基本的な構造と制作技法を習得していく。また、靴、靴にまつわる歴史的知識の学習や、靴、靴を構成する革素材についての学習を行う。
担当教員	紀井、櫻井、安井			
対象学年	1年			
必修選択の別	必修			
授業時数	624時間	単位数	19単位	到達目標
開講期間	2022.4.1～2023.3			靴、靴の基本となるスタイルのパターンから縫製、アイテム完成までの一連の制作技法を学び、学生が自らの手で基本スタイルの作品を制作することができることを目標とする。
授業形態	実習			
教員紹介	実務経験有＝紀井(シューズ企画開発)、櫻井(バック製造・修理)			
授業の計画展開	メイキング基礎実習 I-1(靴と靴の構造と基礎知識)			
	内容	靴の構造と基礎知識を学ぶ 靴の分解とレポートの提出		
	メイキング基礎実習 I-2(ダービーシューズ制作)			
	内容	紳士靴の構造、制作方法を学ぶ ミシン、漉き機の使用方法を学ぶ 足の計測・作業を学ぶ		
	メイキング基礎実習 I-3(メンズ基本パターン)			
	内容	木型からフォーム～原型制作技術の習得 ダービーシューズパターン習得		
	メイキング基礎実習 I-4(レディースパンプス制作)			
	内容	婦人靴の構造を学ぶ 制作方法を学ぶ		
	メイキング基礎実習 I-5(スニーカー制作)			
	内容	スニーカーの底付けを学ぶ ウェッジソールの加工方法を学ぶ EVAの加工技術の習得		
	メイキング基礎実習 I-6(メンズ基本パターン)			
内容	オックスフォードパターン習得			
メイキング基礎実習 I-7(オックスフォードシューズ制作)				
内容	革素材について学ぶ 自分のサイズの木型で制作する			
メイキング基礎実習 I-8(トートバッグ制作)				
内容	パターン基礎練習・ミシンの取り扱いについて・ミシンによる縫製練習 規定サイズのポーチ作成・通しマチパターン制作技術の習得			
メイキング基礎実習 I-9(ドラムバッグ制作)				
内容	横マチパターン制作技術の習得			
メイキング基礎実習 I-10(ポストンバッグ制作)				
内容	ミシン縫製による革の丸手ハンドル制作・通し身頃パターン制作技術の習得・内装落とし込み技法の習得 玉付け/玉まとめ技法の習得・革漉き技術を学ぶ			
メイキング基礎実習 I-11(革のトートバッグ制作)				
内容	革バッグ外縫い技術の習得 表面加工(切り替え)バリエーション・革漉き技術の習得			
履修上の注意事項	基本技法の習得のため、1つ1つの工程を丁寧に行うことが大事である			
評価方法	1. 各実習における実制作した靴、靴のクオリティによる評価 2. 各実習における制作技法をまとめたレポートの内容による評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	なし			

授業シラバス

コース名 シュー&バッグメーカーコース

科目名	メイキング造形実習 I			授業のねらい 1年次に学ぶ制作技法を基に、基礎的なスタイルから各自のアレンジを加えオリジナルデザインの靴または鞆制作を行う。
担当教員	紀井、櫻井、安井			
対象学年	1年			
必修選択の別	必修			
授業時数	144時間	単位数	4単位	到達目標 各デザインに合わせた適切な制作構造と技法を選び、オリジナルデザインの靴または鞆を完成させることを目標とする。
開講期間	2022.4.1～2023.3			
授業形態	実習			
教員紹介	実務経験有＝紀井(シューズ企画開発)、櫻井(バック製造・修理)			
授業の計画展開	メイキング造形実習 I-1(オリジナルシューズまたはバッグ制作)			
	内容 1年間で学んだ制作技術を応用した、オリジナルシューズまたはバッグの制作			
履修上の注意事項	計画性を持ち、基本技法の復習を兼ねて制作することが大事である			
評価方法	課題提出物のクオリティによる評価			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	なし			

授業シラバス

コース名 シュー&バッグメーカーコース

科目名	デザイン基礎実習 I			授業のねらい デザイン画描写における基本的な描写技術を学び、靴、鞆の形態認識や立体物の陰影表現方法を習得する。
担当教員	永尾、相田			
対象学年	1年			
必修選択の別	必修			
授業時数	128時間	単位数	4単位	到達目標 鉛筆での描写や、マーカーを使ったデザインスケッチ等、様々なツールを使ったデザイン画作成と線画仕様書作成ができるスキルを身につけることを目標とする。
開講期間	2022.4.1～2023.3			
授業形態	実習			
教員紹介	実務経験有＝相田(バッグデザイナー)			
授業の計画展開	デザイン基礎実習 I-1(スケッチ演習)			
	内容 デザイン画の為のデッサン・スケッチ練習(靴箱、石膏足型、足)			
	デザイン基礎実習 I-2(原寸図面基礎演習1)			
	内容 バッグ基礎知識・原寸図面の基礎表現・立体の平面表現・原寸ドリル			
授業の計画展開	デザイン基礎実習 I-3(デザイン画ドリル演習1)			
	内容 ドリルを使ったトレーニング、線画描写技術、マーカー描写技術の習得			
履修上の注意事項	物の立体感と素材感をよく観察することが大事である			
評価方法	各課題における提出物のクオリティによる評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	なし			

授業シラバス

コース名 シュー&バッグメーカーコース

科目名	デザイン造形実習 I			授業のねらい インスピレーションからのデザイン展開について学び、オリジナルアイテムのデザイン展開について学ぶ。 PCグラフィックソフトを利用した平面上における作品のプレゼンテーション技法を習得する。
担当教員	永尾			
対象学年	1年			
必修選択の別	必修			
授業時数	96時間	単位数	3単位	到達目標 オリジナルデザインの靴または鞆のデザインを完成させることを目標とする。作品を撮影し、PCグラフィックソフトを用いて自身の作品を効果的に平面上にレイアウトする事を目標とする。またブック制作を通して自身のアイデアやコンセプトをプレゼンテーションできる事を目標とする。
開講期間	2022.4.1～2023.3			
授業形態	実習			
教員紹介				
授業の計画展開	デザイン造形実習 I-1(オリジナルデザイン作成) 内容 クリエイターとしての興味をリサーチし、インスピレーションからのデザイン展開を学ぶ デザイン造形実習 I-2(コンセプトブック制作) 内容 1年次に制作した作品をまとめたコンセプトブックを制作する			
履修上の注意事項	作品撮影のポイントを押さえ、自身のコンセプトを効果的に平面上に表現する事が大事である。			
評価方法	課題提出物のクオリティによる評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	なし			

授業シラバス

コース名 シュー&バッグメーカーコース

科目名	美術史・情報デザイン概論 I			授業のねらい 国内外の歴史やトレンドを学び、ものづくりをする上での発想や表現の基本となる知識を深める。
担当教員	永尾			
対象学年	1年			
必修選択の別	必修			
授業時数	16時間	単位数	1単位	到達目標 講義において出題されたテーマについて自身の見解とその根拠をレポートにまとめる。
開講期間	2022.4.1～2023.3			
授業形態	実習			
教員紹介				
授業の計画展開	美術史・情報デザイン概論 I (講義・レポート作成) 内容 国内外の歴史やトレンドからの発想、レポート作成口			
履修上の注意事項	講義において出題されたテーマに基づき、自身の見解とその根拠を順序立ててまとめる事が大事である。			
評価方法	講義を聴講し作成したレポートによる評価			
テキスト	なし			
参考文献	なし			